

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 9 - (4)

政策体系	施策名	感染症・伝染病対策の確立	所管部局名	福祉保健部、生活環境部、農林水産部	長期総合計画頁	81
	政策名	安全・安心な県土づくりと危機管理体制の充実	関係部局名	福祉保健部、生活環境部、農林水産部		

【 . 主な取り組み】

取組			
取組項目	感染症対策(健康危機管理)の推進	高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫、PEDなど家畜伝染病に対する防疫体制の強化	生活環境対策

【 . 目標指標】

指 標	関連する取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
新型インフルエンザ等感染症発生時広域対応訓練の参加機関数(機関)		H26	9	27	27	100.0%	35	35	█	█	█	█	█	█

【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	市町村がそれぞれ策定している新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型インフルエンザ等感染症発生時広域対応訓練に積極的に参加したことにより、目標値を達成することができた。	達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機管理研修会等への職員の派遣や健康危機管理シミュレーションの実施により、健康危機管理対応能力の充実向上を図ることができた。 結核拠点病院に派遣した医師に対し、臨床研修や調査研究のための支援を行うことで、結核診療能力を有する医師の県内定着を図ることができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 県特定家畜伝染病ガイドラインに沿った県防疫演習を実施することにより、伝染病発生時の円滑な初動防疫体制を確立した。 畜産農家等へ家畜防疫に関する最新情報の提供等を行い、飼養衛生管理基準の遵守徹底を図った。
	<ul style="list-style-type: none"> ペットショップ等の動物取扱責任者や犬や猫の飼育者を対象とした研修会等で、人獣共通感染症に対する知識や感染対策について、周知を図った。 と畜検査員や食鳥検査員に対する研修等を行うことにより、異常畜の早期発見に努めた。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	健康危機管理対策推進事業	7,316	A	継続・見直し	92
	結核医療体制強化事業	36,548	A	継続・見直し	93

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>と畜検査員・食鳥検査員講習会(H29.10)</p> <p>家畜伝染病について、予防、異常発見のためには、近隣諸国の鳥インフルエンザ等の発生状況の最新情報を知ることが大事であるため、今後も情報提供に取り組む必要がある。</p>	<p>平成29年度県特定家畜伝染病防疫演習意見交換会(H29.11)</p> <p>万一の発生に備え、全庁的な防疫演習は継続的に実施する必要がある。</p>
--	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> 県及び市町村が策定した新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、対応訓練を実施する。 九州山口各県にまたがる広域的な情報伝達の訓練について、県及び市町村、指定地方公共機関で連携して実施する。 新型インフルエンザ、エボラ出血熱、MERSなど、国際的な感染症発生動向を踏まえ、検疫所など他機関と連携して対応訓練を実施する。 血液検査機器の更新により結核患者への対応を強化する。 H30年からの新たな専門医制度に合致する研修により、結核診療医師の育成・確保を図り、結核医療体制を充実させる。 引き続き家畜伝染病に対する防疫体制を強化し、万一の発生に備えるとともに、防疫演習や検討会を行い万全の準備を行う。 畜産農家等へ飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、継続的に取り組む。 と畜検査に関し、検査設備の整備、技術向上のための研修の実施により、迅速かつ正確な検査体制の充実を図る。